

廣益俗說辨首

序總目全正二冊

13

954

1

蟠龍子井澤長秀先生著

廣益俗說辨

廣益俗說辨序

大離^テ理認^メ迹^ヲ離人^ヲ指^サ神^ヲ

則^レ言^ハ之失^リ為^リ書^ト書^ト之失^リ

傳^フ妄^ヲ妄^ヲ又^テ會^テ妄^ヲ其^ノ說^ハ盛^ニ
行^ル矣^ニ至^ス其^ノ為^シ風^ヲ為^シ俗^ヲ為^シ

城爲郭牢不可破則不
可不_下一揭_テ本源歸于至
當者此橋龍子所自任_テ
且辨_ツ也其所廣益二十
餘卷上自

天子幸及雜類終在明
白_ニ富目易曉能俾覽者
不_下惟有所厭_ル飲而得以_テ
泝_ル本源於是理顯神明
而所謂辨者全備矣昔

孟子不好辯辯於其不
 得已蟠龍子辯而又辯
 亦庶幾乎不得已矣余
 欣然為序以為左袒之
 證正德乙未八月上澣

同僚竹堂熊谷維識



廣益俗說辨序

凡學神道明理本源者先

自諸社傳記事實始未有

廢傳記事實而曉明理本

源者也。夫明理本源堂室

也傳記事實階梯也譬諸
無不歷於階梯而能昇于
堂室矣節嘗觀覽諸社傳
記或差義理或謬本據流
于妖妄入于附會其得精

英者蓋尠矣粵舉所謬傳
說而爲之辨解然亦以爲
若夫童蒙專嗜雜書不好
神籍方知其不可行也故
皆載神社傳記次列歷代

雜事目號俗說辨是欲俾
讀歷代雜事者施及神社
傳記也然後恨遺漏不少
尋著續新一編今每有繙
看猶不滿于心因併俗說

三編總括成全書拾其遺
漏補其闕略分爲二十卷
題以廣益字庶幾後覽之
士歷此傳記之階梯而昇
彼明理之堂室矣因述微

意以書卷晉

正德五年五月十一日

肥後隈本

井澤節長秀

廣益俗說辨附編敘

古語曰諸病皆可醫但

俗不可醫醫俗病者蓋

在書籍耳節嚮著廣益

俗說辨相繼述後編遺

編今復附編脫稿他日

將輯殘編總其所載雖
以淺陋之語而若爲醫
俗病之一端歟
享保四年八月十一日
肥後隍本井澤長秀

廣益俗說辯總目錄

肥後州隈本府 井澤長秀 輯錄

○若^キ正編所載之說者冠以一二三

○若^キ續^ニ編^ニ新^ニ編^ニ所載之說者冠^ニ以^ニ續^ニ字^ニ新^ニ字^ニ

○若^キ今^マ新^タ所^ノ補^フ之^ノ說^ハ者^ハ冠^ニ以^テ補^フ字^ヲ

○若逐段所加之說者、記以訂補字、

卷一
神祇

補天神七代乃說

補
伊勢イサナ諾ナカニ多タカ伊勢イサナ並ナニ多タカ天浮橋テンフキハシノ立タテ子コノ後ノチ

新 伊弉諾伊弉冉一女三男誕生後附素盞鳴

多領地とわるといふ説

補 伊弉冉並黄泉にいまり居る説

一 天照大神と天照太神如來といひわるといふ説

ついで 神璽乃説 訂補

補 天鏡の月殿に在して鏡と云ふ説

二 賀茂皇太神の造化の雷と云ふ説

生れ子と云ふ説 訂補

補 三輪神乃説

補 木花開耶姫無戸室小入多焼給ふ説

新 豊玉姫産期と龍と云ふ説

卷二 神祇

一 八幡と菩薩号と云ふ説 附弘法大師と云ふ説

況并八流乃幡と云ふ説 訂補

二 祇園牛頭天王と天竺乃神と云ふ説 訂補

三 春日大明神佛と云ふ説

四 仁吉大明神白樂天青苔白雲と云ふ説

五 東寺此門前と稻と荷と云ふ説

少名彥比古彥 訂補

六 山王權現比叡山 訂補

七 出雲大社 訂補

八 麻鴉大明神 訂補

新 康鴉社神軍 訂補

新 阿蘇大神 訂補

乃後 訂補

卷三 神祇

一 藝田大明神 訂補

附 蓬萊乃後 訂補

二 熊野乃神 訂補

補 渡唐天 訂補

三 愛宕神 訂補

乃後 訂補

四 金峯山乃神 訂補

乃靈成記 訂補

五 富士淺間神 訂補

孝靈帝乃御 訂補

六 粟嶋大明神ハ女メ神カミト云イハレ後ノチ人ヒトカ病ヤミ哉ナリ

守モリ後ノチ云イハレ後ノチ 訂補

新 蟻アリ通トホ明神アカミカミ云イハレ後ノチ

新 笠嶋道祖神カサシマミチノササケノカミ藤原實方フジワラノサカタカとト跳ハネ殺コロとト實方サカタカ崔スミとト

カカ子コ況シ 訂補

七 大隅正八幡オホミチノサテヤチハチマツハ天竺陳大王テンシクノチンノオホミチノサテ孫ミコとト云イハレ後ノチ

新 松浦大明神マツウラノアカミカミハ藤原廣繼フジワラノヒロツグとト祀イハヒふフとト云イハレ後ノチ

松浦マツウラ法周姫ホフシウノヒメ成ナリ祀イハヒふフとト云イハレ後ノチ 訂補

八 巖嶋イワシマ竹生タケナリ傳ツタヘ江島エノシマノ神カミハ年トシ財サイ天アメとト云イハレ後ノチ 附 三神

と辰ツチ狐キツネ王ノミ女メノ云イハレ後ノチ 訂補

補 速吸ハヤスビ日女神ヒノメノカミ乃ナリ況シ

九 大黒夷子オホクロノエヒコ乃ナリ像ゾウ此コノ況シ 訂補

卷四 神祇 雜著

補 神明カミ天アメノ此コノ乃ナリ地チノ中ナカニニ祀イハヒふフ況シ

補 神カミハ心ココロ出デ乃ナリ頭カウヘノヤヤとト云イハレ後ノチ

補 神明カミ多タクク乃ナリ蛇ヘビとト云イハレ後ノチ 中ナカニニ祀イハヒふフ況シ

ちチ成ナリ乃ナリ云イハレ後ノチ

續 神體カミノミとト云イハレ後ノチ

畧リヤクと云イハレ説セツ

文字ノ説

草木言語17

神書に依りてしるすなり

三社託宣乃後

人平生九力^{タヒミヤルハ百カチカラ}を^{タヒミ}執意^シの説

六根清淨 禪式 經

神々々として子姁々然の不思議な世界

社乃エニ起キ乃ハ説

神明儒士ト式レ多モり終ハて海鏡

氏祚氏子乃纓

文社此条後為說

放生會中

神事に獸と食すケモノ家城シヨウ居イ從ヨリ

三寶荒神乃倭

軍神三天玄說

醫學神藥作佛の呪
訂補

箭^ヤ大弓乃侯

2

同 神ノ二王ノ後

同 神ノ犬ノ後

同 諸神ノ使者ノ後

同 宮ノ後

同 鳥ノ表ノ後

訂補

補 拍ノ後

補 わノ後

補 木綿ノ後

續 日待月待庚申待ノ後

補 祈禱ノ後

續 禁呪ノ後

卷五 天子

新 仁天皇御宇八ノ日ノ後

同 系ノ天皇ノ後

訂補

補 應神天皇三年三月ノ後

一 同帝尾ノ後

新 繼體天皇花ノ後

二 用明天皇豐後國ノ後

新 崇峻天皇と釋迦佛の化身と云説

補 天智天皇腹赤の御贄此説

三 同帝山科より幸わけて登天一の路此説

卷六 天子

一 天武天皇遷居大倉皇子被誅して即位此説

新 同帝の御宇に國柄を奏しつゝ此説附 同帝の

二 万里より兵隊をもちて此説

二 舒武天皇の御宇に此説

補 同帝舍利と云神を獻する此説

三 桓武天皇の賢王と云説

四 清和天皇相撲の勝負より即位此説

五 延喜天皇の御代と云説

新 延喜帝室の夜に御衣代ゆきて民に普く此説

附 同帝地獄に墮此説

六 花山院后の御代此説

新 安徳天皇の八俣大蛇の化身にて寢殿より入

る此説 訂補

卷七 皇子 后妃

新

日知武多吾妻と云ふ説附 景龍紙説

補

宇治稚郎子百瀬乃妻紙説

新

早良太子蒙古人と云ふ説附 菖蒲宮紙説

一

神功皇后乾珠滿珠と云ふ説附 新羅紙説

弓弭めて新羅王八日おれ物なりと岸石と云ふ

此を紙説

補

雄略帝乃后播按姫帝紙説

二

光明皇后洛室と云ふ説附 河内佛紙説

明皇后聖武帝と云ふ説附 薨と云ふ説附

追善此乃東大寺紙説

訂補

新

井上皇后大蛇と云ふ説

三

南朝乃准后藤子退出と云ふ説

卷八

公卿

補

道臣令ハ物部乃祖と云ふ説附 武士紙と云ふ説

と云ふ説

補

厩戸皇子紙八耳と云ふ説

補

守屋大臣と道臣と云ふ説

一

大織冠藤原と云ふ説附 實珠と云ふ説

二 柳本八麻呂柳本より生ずる後附 同人上巻同

小方より生ずる後 訂補

三 阿倍仲麻呂鬼くたつて古飯大臣より生ずる後 訂補

新 菅原相王より生ずる後

同 輕大臣燈臺鬼と云ふ後

補 小野篁北嶽の冥官と云ふ後

卷九 公卿

一 田村利仁出雲と証す所附石動明王より生ずる後

附 田村利家陸奥代鬼代より生ずる後 訂補

二 百合若大臣ひびくより生ずる後退治の後 訂補

三 在来乃平順藤浦より流され松風村より生ずる後

四 在来業平年々此年より生ずる後ひびく昇天と云ふ後

五 蟬丸延光帝第四より生ずる後盲目と云ふ後附 四又河

系わく飯の後 訂補

補 六孫王経基理庭より生ずる後藤氏射後

補 紀實定遠代藤より生ずる後貫之と云ふ後

補 平清盛雷より生ずる後

補 左政大臣藤長入唐代藤より生ずる後

新 保實胡公曉^{サトモ}。弒^{コロス}之^ヲ。後

卷十 士庶

一 浦^{ウラ}子^シ蓬萊^{ホウライ}。いさうに百^{ヒャク}年^{ネン}と経^{ヒトケル}て。後

新 最^チ系^カ十^カ方^カの^ノ後

同 都良香^{ミヤコヨシカ}仙^{セン}と^ト方^カの^ノ後 附 羅生^{ラセウ}の^ノ後

二 依^ヨ衣^イ衣^イ衣^イ秀^{シウ}の^ノ上^{ウエ}山^{サン}の^ノ蟬^{セミ}蛸^{カテ}と^ト射^イる^ノ後 附 同^{ドウ}人^{ニヒト}の^ノ後

討^{ウチ}死^シ 訂補

三 藤^{フジ}系^{ケイ}忠^{チュウ}文^{ブン}の^ノ門^{カド}追^{オヒ}討^{ウチ}る^ノ賞^{カガミ}を^ヲ以^{モッテ}と^ト恨^{ウラミ}み^テ悪^{アク}霊^{レイ}と^トなり^{ナリ}後

新 平^{ヘイ}維^イ茂^{モウ}戸^コ隠^{カクレ}山^{サン}の^ノ鬼^{オニ}成^{ナリ}る^ノ後

四 信^{シロ}太^タ小^コ太^タ郎^{ラウ}の^ノ後

入 源^{ゲン}於^{ヨリ}先^{ミツ}酒^{シュ}顛^{テン}童^{ドウ}子^シ成^{ナリ}討^{ウチ}死^シ 附 公^{キミ}蜘蛛^{クモ}の^ノ後

補 於^カ先^{ミツ}家^カ長^{チヤウ}四^シ天^{テン}王^{ワウ}一^{イチ}人^{ニヒト}武^ブ者^{シャ}の^ノ後

補 渡^{ワタ}邊^ヘ綱^{ツナ}相^{サウ}馬^バ良^{リヤウ}門^{カド}と^ト討^{ウチ}死^シ 附 綱^{ツナ}泳^{エイ}秋^{アキ}の^ノ後

新 同^{ドウ}人^{ニヒト}宇^ウ治^チ楊^{ヤウ}姫^{ヒメ}宇^ウ多^タ森^{シン}鬼^{オニ}羅^ラ生^{セイ}の^ノ鬼^{オニ}と^ト斬^{キル}死^シ 附

同 公^{キミ}時^{トキ}八^{ハチ}血^{ケツ}氣^キの^ノ勇^{ユウ}士^シと^ト云^{イハレ}死^シ 訂補

卷十一 士庶

新 阿^ア倍^{ヘイ}晴^{セイ}明^{メイ}ハ^ハ瓶^{ビン}乃^ノ子^コと^ト云^{イハレ}死^シ 附 晴^{セイ}明^{メイ}乃^ノ滿^{マン}術^{ジュツ}と^ト云^{イハレ}死^シ

乃後

訂補

一 明道滿ふちゆる種生してる滿と付後附

一條及橋乃後

二 八幡右郎義家阿倍貞任の唐とやう後附 松

浦黨乃後 訂補

補 義家鳴弦乃後

補 同人地獄と後

新 紀良貞蛙乃女とまけまゆと遠後附 雪隠松多牛

此秋の後

三 鎌倉権五郎鳥海派三郎に眼成射しとる後附

成射返と後

四 鎮西八郎為朝龍文ふゆ後

補 大庭景義御術自讃乃後

新 悪源太義平雷と力めて種成六郎と雲とる後

補 源頼政野成射で菖蒲前を賜ふ後

卷十二士度

補 源頼朝依木中へ佛像とゆと後

一 源義経天狗と叙術とゆふひ或は六韜とて

補

輕捷の形と得る後 附 糸橋より千人斬の後

補

小條時政の法師時政の後身と云説

二

梶系系時太肥の松山ゆき杉朝とき次く後説

三

秘蔵實盛と義勇武士と云説

補

系清三尾谷朝乃説 附 系清忠光盛嗣杉朝と

新説

四

糸清橋より牢と破る眼と扶説

補

主馬判官盛久の後

訂補

糸 浪谷金五郎後よ云作場と号する説

卷十三 士庶

新

薩摩守忠度殿の経冊紙片をー説

同

常陸房海島仙と云説

補

仁田忠常富士乃持より世傳と云説 附 忠孝

富士乃人云よ入事地獄と云説

一

朝比奈義秀ハ巴の子と云説 附 義秀が戦時説

系 招引の後

補

同義秀鬼の孫と云説

補 最明寺時頼清國と迫る説

補 佐世源左衛門常世の説

補 佐城入道地獄の陰謀の説

補 佐村彈正左衛門解くたふの説

新 右面左權時世の秋の説

補 松田左馬介忠義の説

二 小栗判官兼氏の説 訂補

補 日下左衛門芳新の説

三 花澤内匠の説 訂補

補 信濃國孝子の説

卷十四 婦女

補 日向賢長媛の説

一 松浦佐用媛の史記と作る説

補 藤原家持の女子母の余のうゑの説

新 小母小町母子洗の説

二 同人鸚鵡の魚の秋の説附玉造小町乃説 訂補

新 紫式部樂天の香煙峯の詩の意よく簾をく

新 説

補

伴傳者補伊勢物語とけふは説

補

檜垣遊女の白拍子なりと云はれ

新

天女三保の松糸のくどる説 訂補

三

玉藻前教生名となす説 訂補

四

常盤赤青墓よりあはれと云はれ

五

堀河殿討つた新長刀の教説と云はれ

六

新形長刀の説

七

佐倉屋司の後家義経よりあはれ

七

花のむらさきと云はれ

卷十五 僧道

一

百濟の僧日羅来朝の説

二

片母の飢人と達磨と云はれ

三

行基菩薩と卵生と云はれ 訂補

新

新羅僧の鉢と益と教と云はれ

四

弘法大師強徳附守教僧都の説 訂補

五

真推阿闍梨在在業平氏見て新羅縁と云はれ

六

柳中紀傳西靈深處后と悩む説 訂補

補

元昉僧正還亡の相わざ説

七 志賀寺上人 系極乃御息所より遂て親戚なり

八 慧公僧都 寂より時胸より蓮華様生ぜり

九 西行法師 普賢菩薩と稱され

卷十六 人物補遺 公卿 士庶 婦女

補 小村文實 明賢人として知ら

補 大に匡房 道理求道乃松名

補 小條師時 小條宗方より惡靈を害せり

補 右田道灌 子息を悼めり

補 大内義隆 方角と忌

補 小督局 名言り

補 白拍子 微妙事なり

補 讃波局より惡靈 小条政村より女子様方なり

補 棟棠花より 義方様と云先人なり

卷十七 近世

補 近衛氏 敵討り

補 篠井氏 敵討り

補 われ者他より 羅織我身より

補 わる人 從士より 奔逸れり

補 名氏抄と母と教と後

補 わたし軍学者状評と後

補 塚本氏父と敵と討と後

卷十八 雜類 地理

補 豊芳原中酒と後

新 扶桑國名後

同 君子酒と後

同 若木酒と後

同 東海姫氏酒と後

訂補

同 日多見酒と後

訂補

同 常世酒と後

補 速吸名門と後

補 滝希箱酒の後

補 秋田城と後

續 陸奥壺碑と後

補 信支摺と後

補 手譚池と後

續 古井と毒わねと後

同 經井代説 訂補

卷十九 雜類 人物 官職

續 十君帝位代説 訂補

同 朝長代説

同 尉乃説

同 上臈下臈乃説

同 被官乃説

同 難色乃説

同 將士陰陽昨代説

同 長者乃説

同 百姓乃説 補 姓氏之別 訂補

同 妻者代説

同 大工乃説

同 猶子代説

同 檀那代説

同 宰人代説

同 檢校勾當代説

補 藤倉百官代説

文籍

補 管音江音乃流

器用

補 再拜乃流

音樂

續 想支意乃流

畫圖

續 鐘磬像乃流

歲時

補 七夕名流

卷二十 雜類 佛教

續 佛像と彩色と心流

訂補

同 石佛生行流

訂補

同 佛像光と教と言語流

訂補

同 佛と石と畫附 石と文字と書流

訂補

同 名山よをいて佛乃出現と彈と心流

訂補

同 佛舍利乃流

訂補

同 百度と糸須乃流

同 妙見菩薩の流 訂補

同 古の偽小の奇特の流

補 古の偽教と封の流

補 古の偽石と畫の流

續 現在地獄の流 訂補

同 地獄と夏秋の流

同 假持と人の流

同 極重惡人との流

草木

補 本紙代てまゝの流

畜獸

續 馬角の流 訂補

同 牛黃の流

同 物寶の流

魚蟲

續 くゝの貝の流 訂補

補 俗説辨の流

○ 俗説辨引用書目

六百三十餘部

總計二百六十條

内

新補九十一條

訂補六十二條

合百五十三條

廣益俗説辨總目錄終

廣益俗説辨遺編目錄

肥後州隈本府井澤長秀輯録

神祇

補

倭勢内邪宮の説

補

倭勢二見浦の邪鏡の説

補

天稚御子の説

補

天逆每姫令れ説

天子

補

花山御沙出家の時侍臣内通河部時説

補

崇徳院後收松が湯風の由説

俗説辨遺編總目錄

皇子

補 二代の征西將軍宮乃院

公卿

補 菅丞相九月十三日薨御

補 在原行平周懷山の歌乃院

士庶

補 大石山丸乃院

補 桐子門謀叛れと云ふ事連練死乃院

補 多田藤仲清原太右衛門忠房乃院

補 源頼義其歸入乃院

補 義家忠明晴明幼少名を義家とわく乃院

士庶

補 鎌田善清政清と忠清と乃院

補 甲斐二房兼家比獄廻乃院

補 愛媛乃院

補 信徳乃院

補 山田重光乃院

近世

補 果子沢乃院

婦女

補

赤宮ハ恬子肉親王より後改修といふ説

親王の女をうとふと別と部類と云ふべしやうかたれどもいふ

補

源頼義の母修理令掃け説

僧道

補

西行法師崇徳院御廟より修て歌と説

雑類 人物

補

誕生てうゆりへ鬼子と云説

補

水ゆびと天文事申よりゆり云説

補

二月二日奴婢出易の説

補

爰想業と説

佛家

補

あり偽如率夫より昇り説

補

あり僧遷化より天をあり説

補

あり僧坐禪より火より焼る説

地理

補

四海より説

補

近江より宇村の説

補

女養子より説

草木

補

木より文字あり説

補 門松の洗

補 楓のりみちと那洗

補 木紙依て血出る洗

補 木石よがる洗

火

補 杉津玉二根坊が火河内玉薬が火をいふ油盆の洗

水

補 抱へるにふと云洗

補 有る後湯の洗

補 江戸屋が洗の洗 附より俵玉熱湯手なす湯同水法亦湯并ニ
美濃玉念佛川等の洗

補 播摩玉ふ増ふ減の水の洗

土石

補 小石長くと大石とある洗

補 お模焼石河波も石の洗

補 焼後石人の洗

果蔬

補 丹波の父打栗の洗

補 周防玉天養果此洗

飲食

補 柿餅の洗

補 酒迹の尻

禽鳥

補 鶏の膏の尻

補 鳥の尻と不祥と尻

畜獸

補 白角の尻

補 野婆の尻

補 我朝の天物の尻

魚蟲

補 石見國新水巻の尻

補 慰火斗の尻

寶貨

補 六道の尻

器用

補 ヒ首の尻

補 土産の尻

總計六十條 前後遺三編合三百七十六條

神祇

補

補

補

補

補

天子

補

補

公卿

補

補

補

道祖王侍事^{ビシ}秋妻^{アキメ}と云^{イハレ}況^シ
貞純^{サタスミ}親王白龍^{クケウ}と化^カる況^シ
わふ公卿人^{クケウ}と云^{イハレ}る況^シ

士庶

補

補

補

補

巨勢金^{コセ}固^コ々^カ畫圖^{カク}小妙^{コミタウ}わ況^シ
平將門^{ヘイシャウモン}箕田^{ミタ}の城^{シロ}と攻^セふ況^シ
平負盛^{ヘイフセウ}ハ仁義^{ニギギ}の良將^{リョウシャウ}と云^{イハレ}況^シ
碓井^{ウスヰ}貞光^{サタミツ}頼光^{タモトミツ}の臣^{ミコ}と云^{イハレ}況^シ

附
同人^{ドウジン}権盜保^{ケンタウホ}

補

補

士庶

補

輔^ホと搦捕^{カサヒ}況^シ
ト^{ウラヘ}款^{スヘ}季武^{キブ}と云^{イハレ}況^シ
酒田^{サカタ}公時^{キョウジ}頼光^{タモトミツ}の臣^{ミコ}と云^{イハレ}況^シ

補

補

補

小條義時^{コジョウギジ}ハ八幡^{ヤシロ}の化身^{カミナリ}と云^{イハレ}況^シ 附 司泰時^{シタイジ}詠^{ナミ}
秋^{アキ}の院^{イン}
鷲尾^{シウビ}三郎^{サンロウ}純春^{ジュンシュウ}と云^{イハレ}況^シ
糸田^{イトダ}種^{タネ}重^{シゲ}漢^{カン}の^{ミコ}祖^ソ代^{ダイ}裔^イと云^{イハレ}況^シ
渡邊^{ワタナベ}左^サ馬^マ源^{ゲン}渡^{ワタナベ}僧^{ソウ}と云^{イハレ}況^シ
号^{ナリ}と云^{イハレ}況^シ

補

烟時能流矢よわふ説

補

今虎入道澤慶う説

補

佐々木通兼家滅亡を説

補

尼子氏ハ鹽谷判官の後を説

補

武田信玄を我時殺る再世を説

儒道

補

文覺頼朝と相を説

補

妙吉侍者と天狗の化現を説

近世

補

服部幾々母父の敵を説

補

寒河又四郎父の敵を説

補

渡瀬氏此女幼儀の丈を説

雜類人物

補

古代武士の記を今ハ解くを説

補

幼児ハ賦名を説

補

孫ハ後よりあるを説

補

人ハ名よりあるを説

補

武者修り此説

補

わふ人佛と信して教書成すを説

補

女現口託り説

補

惡人死也及葬送乃見大風多雷電亦見

官職

補

玉體キヨクタイ少見

補

下官アツカシ少見

藝術

補

石臼ウスダシ藝術少見

補

他乃藝術アツカシ少見附ツケあきならふと云見

補

他乃說哉我見とも云見

文籍

補

新板書籍の記

居處

補

大黒柱コウキョウの記

地理

補

日本少く紫文ムラサキモノ成る事見

補

晴明ハルミの瀧タキの記

補

水ミヅ江ナガハ河カハの記

祭時

補

月紙ツキシ擇エラ極ツクの記

器用

補

纒カ乃ハ說

補

五明扇ハ乃ハ說

佛家

補

木像ミゾゾウ畫像シヅ光氏ミツノリ經ノリ乃ハ說ハ附ツキ後ノチ佛ブツ新シン氏ノリ現アタラシ乃ハ說

禽獸

補

常トコヨ世ノ長鳴ナガナリ雞トリ乃ハ說

草木

補

伊イ璿ハニ乃ハ說ハ後ノチ乃ハ說

補

俗說ハ辨ハ或問

總計五十六條

前後編合三百十六條

廣益俗說辨殘編總目錄

卷三十八

○神祇

補

鹿カ寫シ之ノ乃ハ說

補

長ナガ田タ社シャ乃ハ說

補

鈴スズ鹿カ社シャ乃ハ說

○后妃

補

檀タン林リン皇后ノミヤノミコ乃ハ說

○公卿

補

菅カネ丞相ノミヤノミコ乃ハ說

補

平重盛源頼朝を伊豆國へ流し給ふ

○土喪

補

藤仲光が死

補

頼朝通伊東北条女子カミエミ附 同人討山本判官が死

卷三十九

○土喪

補

畠山巴女ハタケと戦ふが死

補

能登守教経戦死の死

補

武藏坊弁慶ハ能登別當堀増が子くすの死

補

足立藤九郎盛長が死

卷四十

○土喪

補

楠正儀足利家へ降参の死

補

宇野能王丸楠正儀と相争ふが死

補

細川頼之丹波へ國へ蟄居るの死

○婦女

補

鹽谷高貞が妻が死

補 新金やきこー女グ役

○僧道

補 釋道公修馬の神をえん役

卷四十一

○雜類 地理

補 上総國下総國の役

補 常陸國の役

補 筑前國筑後國の役

補 豊後國の役

補 兵庫桑島の役

補 阿波鳴門の役

補 駿河賤機山の役

補 陸奥千咲原の役

補 下野室の八雲の役

補 大和龍中谷の役

補 外國をわらへ称する役

補 諸國名後より文字を改める役

補 古稱國後改郡郷の役

補 異邦書に載る日本國郡等異名の役

卷四十二

○雜類 地理

補 攝津國琴引坂の役
補 肥後國踊山の役
補 同國弥護山の役
補 駿河富士の人穴の役
補 伊勢國鏡石の役
補 伊豆國喜盤石の役
補 土佐國潮石の役
補 同國響石の役
補 同國勤石の役

補 隱岐國葛田池の役
補 伊勢國井谷の水の役
補 常陸國出水河の役
補 肥後國鹿子本赤井の役
補 同國阿蘇郡小國の奇水の役
補 阿波國早石の役
補 出雲國玉造の熱湯の役
卷四十三 補遺 編終之後追加

○雜事 人物 俗諺

補 五月五日いすゞ子に親いあふりて云役

補

諱及名乃從

補

名字補遺

補

源内平内等の名乃從

補

監物を郎監物次郎といふ名乃從

補

朝記の家人は福をいふ名乃從

補

物よりやうといふ名乃從

補

金神乃從

○雜類 居處

補

丹波因時平屋敷の從

○雜類 佛家

補

大砥乃石地藏の從

○雜類 文字

補

石をちくといふ從

補

船乃字はきみといふ從

補

定家一字題乃從

補

野馬臺ハ陽煙といふ從

○雜類 禽鳥

補

五位鷺乃從

補

黄鳥字をいふ名乃從

補

郭公鷓鴣といふ名乃從

廣谷見時義補惣目

○雜類 魚蟲

補 鯉をくつふとよむ從

補 石皮明殼と門は掛々從

○雜類 草木

補 牡丹を北日草といふ從

補 杜若とかきほづといふ從

補 奥列の草蒲わね板よりうみ紙用々從

卷四十四 補遺

○雜類 人事

補 息女を娘と書從

補 へげ髪乃從

○雜類 文字言語

補 天竺文字孝君帝沛字に後從

補 者と書從

○雜類 器物

補 龙折烏帽子れ從

補 尺八乃從

○雜類 衣服

補 舊苔の袖乃從

○雜類 藥種

補

香カウのくぐれレ役

補

○ 雜類 食物

補

餅モチをかレんとレえレ役

補

○ 雜類 居處

補

相模國ソガ曾我屋敷の役

補

○ 雜類 禽獸

補

蒙モウ貴キを猫ミコとレつレ役

補

○ 雜類 魚蟲

補

硯の中より龍出レ役

補

○ 雜類 草本

補

梅を木母とレえレ役

補

日本の海カイ棠ドウ乃レ役

補

女郎ラミナヘレ花乃レ役

卷四十五

補遺

雜類 俗書

補

呂ゴ越エツ軍乃レ役

補

波羅ハラ奈ナ國沙門レ役

補

竹タケ枯カル乃レ役

補

長タケ八丈の鬼レ乃レ役

○ 雜類 俗謠

補

伊勢之端一體分身乃從

補

りろくのとちくが從

○附錄

補

或同

十三箇條

以上八卷 引用書三百二十五部

書目終編
載之



